

第4回中学生交流プログラム
【台湾（招聘）】

平成24年11月11日～11月19日

使節団招聘実施報告書

平成24年12月19日



一般社団法人国際フレンドシップ協会

台北市立介壽国民中学校、8名の代表生徒、引率教員1名の訪日研修



前列8名の台湾生徒とホストファミリー

日本事情オリエンテーション（講義と都内視察）



国立中学校 訪問、クラス見学、交流



歓迎



名前の交換 理科クラス⇒



ITクラス⇒



公立中学校 1年生英語クラス参加

台湾文化紹介



台湾コマ



台湾琵琶 (PIPA) と剣舞



台湾茶道



今、流行の曲を合唱
豆各種をすり鉢ですり、お茶を入れる



民族音楽を演奏

日本の技術と京都(伝統文化)見学



パナソニックセンター



友禅染体験



きものの着付け



願い事⇒

日本の思い出



地下鉄で移動



はじめてのお好み焼



新幹線から見た富士山

口絵 (1)~(2)

も く じ

まえがき

I. 「第4回中学生交流プログラム」について	2
II. 台湾からの訪問団滞日日程	3
III. 団員名簿	4
IV. 団員の感想	5
V. ホストファミリーの感想	7

奥付

まえがき

「第4回中学生交流プログラム」(台湾からの招聘)は、公益財団法人かめのり財団の支援を得て、当一般社団法人国際フレンドシップ協会が企画実施運営を行い、台湾政府機関を通じて、台北市立介寿国民中学の2年生8名の団員を招聘しました。

本プログラムは海外研修と位置づけ、9日間にわたる、日本事情研修、中学校での交流、都内ならびに京都視察、ホームステイなどを行います。本小冊子では、記録として日程、感想文などを取りまとめました。

本交流事業に協力いただいたご関係者ならびにホストファミリーの皆様には、本記録が改めて、訪日した台湾の中学生たちとの暖かい交流の時間を思い出していただく機会になれば幸いです。

Web等を通じて本小冊子をご覧になられた皆様には、とても親日的な台湾と台湾の人々について知る機会となり、さらにはご自身の国際交流について考えるきっかけになればとスタッフ一同心より願っております。

2012年12月

一般社団法人国際フレンドシップ協会

I. 「第4回中学生交流プログラム」について

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、28年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学5年生から20歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っています。IFAはまた、23加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU; ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために日々活動しています。

こうした経験によりIFAは、公益財団法人かめのり財団（2006年4月に文部科学省認可、2011年4月に公益財団法人となる。財団名は、創設者の康本健守〈やすもとけんもり〉の父・亀範〈かめのり〉に由来する）からの依頼を受け、「中学生交流プログラム」の実施運営を平成22年度から担当しています。

「中学生交流プログラム」は、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたって日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることを目的にしています。

第1回（平成22年3月）は中国に中学生7名を派遣、第2回（平成22年10月）は中学生8名を韓国に、第3回（平成23年10月）は中学生5名をマレーシアにそれぞれ派遣しました。

第4回となる平成24年度は、先の東日本大震災の際に、被災地に対し一早く支援をくださった台湾へ一般公募により選抜した日本の中学生を10月に派遣するとともに、11月には台湾の中学生を日本に招聘し、初めての相互交流が実現しました。

台湾への派遣では、同世代の少年少女や現地の人たちと様々な形で交流し、相互理解を図るとともに、外国語学習の意義、異なる文化の中でのコミュニケーションの重要性、さらには台湾の歴史、社会、文化等に対する理解を深めました。

台湾からの招聘では、派遣団の日本生徒をホームステイで受け入れた台湾中学生を日本に招き、相互交流を深めるとともに日本人、日本の文化・社会に対する理解促進を図りました。

■関係機関

支 援	公益財団法人かめのり財団
実 施	一般社団法人国際フレンドシップ協会
台湾側	台湾政府機関

■実施期間

<派遣>	平成24年9月30日（日）～7日（日）、全7泊8日
<招聘>	平成24年11月11日（日）～19日（月）、全8泊9日

■団員（派遣、招聘とも引率者1名が同行）

<派遣>	7名 日本の中学生（全国公募、書類審査、面接審査を経て決定）
<招聘>	8名 台湾の中学生（台湾政府機関の推薦校にて選抜）

Ⅱ. 台湾からの訪問団滞日日程

NO	月日	時間	都市	内容	宿泊
1	11/11 (日)	午前 夕刻	台北 羽田	台北（松山空港）発 東京国際空港（羽田）着 入国審査後、専用車で都内へ 都内見学 ホテル着後、チェックイン、資料配付	東京 (3泊)
2	11/12 (月)	午前 午後 夕刻	東京	オリエンテーション、滞日ブリーフィング 日本事情講義 台北経済文化代表処表敬訪問 都内見学（東京タワー）	
3	11/13 (火)	午前 午後 夕刻	東京	都内中学校訪問、交流 歓迎・交流会	
4	11/14 (水)	午前 午後 夕刻	東京 京都	パナソニックセンター東京 見学 京都へ移動 清水寺、八坂神社拝観	京都 (2泊)
5	11/15 (木)	終日	京都	京都視察 古代友禅苑（ハンカチ染め体験） 二条城、錦市場見学 着付け・茶道体験 金閣寺等見学	
6	11/16 (金)	午前 午後	京都 東京	東京へ移動 着後、ホテルへ ホストファミリーと対面式 ホストファミリーとともに各家庭へ	ホームステイ (2泊)
7	11/17 (土)	終日	東京及 び近郊	ホームステイ	
8	11/18 (日)	午前 午後	東京及 び近郊	ホームステイ 昼食後、ホストファミリーと共にホテル集合	東京 (1泊)
9	11/19 (月)	午前	東京 羽田 台北	ホテル発東京国際空港（羽田）着後、朝食 羽田発 台北（松山空港）着	

Ⅲ. 団員名簿

NO	Photo	Name	Sex	Age	Calling Name	Grade
1		陳正洋 Chen, Chen-Yang チン セイ ヨウ	M	14	ルイス	8th 2年
2		李居展 Lee, Chu-Chan リー キョ テン	M	14	リー	8th 2年
3		陳奕嬋 Chen, Yi-Chiang チン エキ ショウ	F	14	Kelly ケリー	8th 2年
4		黃可欣 Chen, Yi-Chiang コウ カ キン	F	14	コーシン	8th 2年
5		林允恩 Lin Yun-En リン イン オン	F	14	Angela アンジェラ	8th 2年
6		唐禹煊 Tang, Yu-Hsuan トウ ウ セン	F	14	Candy ゆか	8th 2年
7		鄭安安 Cheng An-An チェン・アン アン	F	14	えん えん	8th 2年
8		鄒昕 Tsou Hsin スウ キン	F	14	Rita リタ	8th 2年
9		賴佳虹 LAI, CHIA-HUNG ライ カ コウ	F		Joyce ジョイス	英語教師

IV. 団員の感想

陳正洋 14歳（男）

このような日本を訪問する機会を与えてくれた日本の皆さんに感謝します。すばらしいホームステイを与えてくれたホストファミリーにも感謝します。そして、すばらしい研修旅行にしてくれた日本の友達に感謝します。

李居展 14歳（男）

すべてパーフェクト！すべての人が親切！日本大好き！もう一度日本に来てみたいです。

陳奕嬋 14歳（女）

私がこのプログラムに参加できることになったと決まったときには、とてもうれしく興奮しました。

私が日本を初めて訪問したのは、6歳の誕生日のときでした。そのとき私は9日間の日本滞在をととても楽しみました。私の両親はある日本企業で働いています。それで私も年に一回は日本を訪問しています。これまでに東京、京都、福岡、北海道に行ったことがあります。「なぜ何回も日本に行くの」と聞かれることもあります。そう聞かれると私は「日本には何回も行っているけど、訪問する土地それぞれに興味深い文化があるのよ」と答えています。

今回の日本研修旅行では、IFAの事務局長は、日本滞在中特に次の2つのことを守るよう言いました。1つ目は、“responsibility（応対する責任）”です。私たちは台湾中学生の代表であり、私たちは自分たちの言動一つひとつに責任をもって日本人に答えていく責務があり、それは台湾にとっても大切なことであることを学びました。2つ目は、“ask（分からないことを聞くこと）”です。私たちは日本滞在中分からないことは自ら質問し、疑問を解決していくことを学びました。

日本の中学生達と会い彼らと授業をともに受けるような機会は、台湾に住む我々にとって類まれな貴重な機会となりました。私にこのような機会を与えてくれたすべての人々に心から感謝しています。

黃可欣 14歳（女）

日本訪問は、我々の中学生生活の中でとても重要な出来事となりました。言葉は通じなくとも笑顔で交流できました。大好き日本！

林允恩 14歳（女）

日本を訪問する機会をもつことができとてもうれしかったです。私はとても幸運でした。もし、だれかが私に「日本はどうだった」と聞くことがあれば、私はこう言うでしょう。「すばらしかった〜」。また、いつの日か日本に来ることができればいいなと思います。

唐禹煊 14歳（女）

この9日間の研修旅行中、私は多くのことを学びました。それは、単に日本文化だけではなく、あらゆることです。私はこれまで一度も海外旅行をしたことも、交流プログラムに参加したこともありませんでした。日本について多くを学ぶことができるこのような機会を与えてくれた日本の皆さんに改めて感謝したいと思います。ありがとうございます。大好き日本。

鄭安安 14歳（女）

すべてすばらしかったです。ホストファミリーはみんな親切でした。日本食おいしかったです。将来また日本に来たいです。ありがとうございます。

鄒昕 14歳（女）

私たちを日本に招待してくれた日本の寛大さに感謝しています。私は日本滞在中多くのことを学びました。このプログラムを実現してくれた日本の皆さんに感謝します。

賴佳虹 英語教師（女）

事前研修で日本語や日本文化の深い意味に触れられたことはとてもよかったです。学校交流では、日本の生徒はとてもコミュニケーションに積極的で、英語学習へのモチベーションも高く、台湾の生徒たちはクラスに直ぐに溶け込むことができました。

訪日前は、日本では男性が家事を手伝うことはないと思っていましたが、ホームステイを通じて、男性も料理や掃除をすることが分かりました。

研修旅行はうまくオーガナイズされていました。日本の日常生活と文化を体感することができ、忘れがたい研修旅行になりました。台湾の生徒は皆、できればもっと日本にいたいと言っていました。

日本滞在中の日本側の配慮すべてに感謝します。

V. ホストファミリーの感想

違う国の方を受け入れる事で、その国への興味を持つことができるし、言葉、生活等異文化を感じながら思いやりの気持ちも生まれます。国を超えた人とのかわり方を学ぶことができました。

同じアジア人ということで、生活面や対応、言葉など違和感がなく一緒にいることができました。あっという間の3日間でした。今度は自分たちが台湾に行ってみたいと思います。

(神奈川県・中2生徒家庭)

普段は家族がそれぞれ忙しくバラバラに行動していることが多いのですが、ホームステイを引き受けたことで、家族揃っておもてなしが出来てよかったです。また、自分の子どもと同年代の異国の子どもと接して大変良い影響を受けることができました。

このような交流活動が一般的に知れ渡りもっと多くの家庭が参加できるようになれば、日本の子どもたちの国際化につながると思いました。

(埼玉県・中1と小3生徒家庭)

日本と比較して英語力が優れていること、ちょっとした習慣の違いや人間としての多くの共通点を感じとり、何もかもが刺激となり、親子で広い視野で物事を見るきっかけとなりました。3日間とはいえ、思い出がいっぱいです。是非、またお受けしたいと思います。子どもにとっては、進路発見にもよいきっかけとなりました。

学生間の国際交流は、国家間の隔たりや誤解を解く良いきっかけになると思います。この年代での様々な経験は、近い将来、職業や政治上での交流をする上で余分な先入観を排除し、スムーズに物事を運べる橋渡しとなると思います。私も子どもも台湾に興味をもつようになり、ニュースや世界情勢にも関心をもつようになりました。

(東京都・高2と中2生徒家庭)

ホームステイは全く初めてでしたが、一緒に過ごしてみると家族のようでお別れのときは、とっってもさみしい気持ちになってしまいました。

(東京都・中3と小6生徒家庭)

英語でのコミュニケーションだったので、子どもにとってはとてもよい経験になったと思います。

(神奈川県・高1生徒家庭)

台湾の生徒は日本の中学生と同じだなあと感じました。ディズニーランドで楽しんだり、友人とはしゃぐ姿は、本当にかわいらしく、日本の子どもたちと変わらないと思いました。

(神奈川県・高1、中1と小2生徒家庭)

楽しくて温かくて最高に幸せな出会いとなりました。子どもたちも台湾のことをもっと知りたい、英語も話せるようになりたいという目標や台湾に行きたいという夢をもつことができました。

このような機会を与えて頂いたこと、彼女と出会えたことに、とにかく感謝しています。

(東京都・中1と小5生徒家庭)

台湾の中学生の英語教育を知り、日本の教育について考えさせられました。英語で言いたいことが言える日本人を育てる必要があると痛感しました。

(東京都・高3と高1生徒家庭)

家族全員が交流を喜び、彼自身のことや台湾について興味をもち、積極的にコミュニケーションをとることで、幸せな気分になることができました。異なる国の人と自分たちとの違いを理解することで、色々なことに思いをめぐらせ、これからどう生きていくかについて考えをめぐらせることができました。

(東京都・中2と小5生徒家庭)

第4回中学生交流プログラム（台湾中学生招聘）報告書

平成24年12月19日

実施・運営 一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12

麻布台ロイヤルプラザ502号

実施責任者 及川 伊佐子

電話 03(3582)3021 FAX 03(3582)3010

Web: <http://www.ifa-japan.org>